

各部・課，機関の長 殿

市 長

平成17年度予算編成方針について（通知）

本市は，平成16年10月12日に，薩摩川内市としてスタートし，合併時におけるまちづくりの方針を継承しつつ，政策目標に掲げたまちづくりの視点に基づき行財政の運営を図る必要がある。

しかし，国においては，本年6月に策定した「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」において，平成17年度からの2年間を「重点強化期間」と位置づけ，三位一体の改革の推進を図る「官から民へ」，「国から地方へ」の徹底など5つの課題に取り組むこととし，平成16年度に引き続き歳出改革の一層の推進を図り，歳出の抑制と所管を超えた予算配分の重点化・効率化を実施するとしている。

また，県においても，平成16年度末を目途に，今後の県政運営の基本方針として，「変えようかごしまプラン（県政刷新プラン）」を策定することとしており，平成17年度当初予算編成においては，この大綱の趣旨を踏まえ，行財政改革やこれまでよりもさらに踏み込んだ歳入・歳出両面にわたる徹底した見直しを行うこととしている。

本市においては，合併効果が具体的に現れるまでは投資的事業を抑制しつつ，将来の発展基盤を形成する継続中の事業に対してこれまで以上に財源の重点的な配分を行い，住民サービスの低下を招かない範囲で経常的な事務事業を見直すとともに以下の5項目を予算編成の基本姿勢とする。

- ① 選択と集中
- ② ハードからソフトへの積極的転換
- ③ 民と公のパートナーシップの形成
- ④ 既存資産の有効活用
- ⑤ 市債残高の削減

このため平成17年度予算編成に当たっては、下記事項に基づき行うこととしたので十分留意されたい。

記

- 1 次の5視点を重点施策分野と位置付ける。
 - ① 「地域力の創造」
 - ② 「都市力の創出」
 - ③ 「市民参画」
 - ④ 「都市ブランドの形成」
 - ⑤ 「行財政運営の自律」

- 2 特に、重点施策分野において、関連する次のキーワードをもとにソフト事業を積極的に展開する。
 - ① コミュニティ ② 健康 ③ 人材育成 ④ 文化 ⑤ 交流
 - ⑥ 地域ブランド ⑦ 観光 ⑧ 安全 ⑨ 環境 ⑩ パートナーシップ

- 3 経常的な事務事業についてはゼロベースからの積み上げ方式による、ゼロベース予算とする。

- 4 現在実施中の全事務事業について、事業効果・目的達成度等から徹底した見直しを行う。

- 5 既存資産の徹底した見直しとともに、その有効活用を図る。

以上の方針を十分に認識し、職員一人ひとりの英知を結集し組織を挙げて、最少の経費で最大の効果が得られるよう取り組むものとする。